

創立130周年記念誌

130th Anniversary



名古屋市立名古屋商業高等学校

掲載内容抜粋



CAのビジネス教育と歩んだ12年

第26代校長

栗原 寿男

CA創立130周年を心からお祝い申し上げます。CAには、昭和45年の新任教諭として勤務して以来4回、通算して12年間務めさせていただきました。130周年の商業祭では、沢山の教え子と再会することができました。特に、最初に担任した学年の85回生の席では、元気な卒業生の前でCAのビジネス教育の近況までを熱く語る機会を得ました。その場の様子は、早速Facebookに掲載され多くの皆様に見ていただいています。

情報化と国際化に対応したビジネス教育ということで、以前、全国の高校に先駆けてインターネット上にCAホームページを開設しました。永い伝統の中で、今でも英語ページに掲載されている校風三則を公式に英訳したのは、その時が最初であったようです。英語のページには、CAが幹事校として発足した名古屋市立高等学校海外研修の報告や、姉妹校として米国ロスのガーデナ高校との交換留学生交流報告、豪州シドニーのチェリーブルック工科高校とのテレビ会議システムによる授業の様子などが掲載され懐かしく思います。

大学との連携を深め、地元の愛知大学とCAの間で高大連携の協定を結びました。また、愛知工業大学とは、近隣の大学の教育環境を活かしたビジネス教育を目指し教育交流協定を締結しました。そうしたCAの動きに呼応して、在校生の中で全商協会主催の全国スピーチコンテストで、レシテーションとスピーチの両部門で優勝し文部科学大臣賞に2回輝いた生徒が出ました。名誉ある日本一が出た喜びを分かち合ったのを覚えています。

歴代の多くの保護者の皆様、そして商友会を中心とした卒業生の弛まぬご支援により、CAの130年間に盛り上げていただけたと感謝しています。新しい情報機器を使って授業をしていく教員の平素からの研鑽と先を読む目が大切です。力を合わせ生徒の将来の生きる力を育てていただきたいと期待しています。

名古屋商業學校開校

明治17（1884）年6月28日、南外堀町（大津橋西南角、現在の中区三の丸三丁目付近）にあった師範学校附属女学部を仮校舎として、國貞廉平愛知縣令の出席のもと、『愛知県名古屋商業学校』開校式を開催した。これをもって、本校の創立日とした。

開校の経緯や当時の様子については、次の資料に以下のように記載されている。

『愛知縣名古屋商業學校廿六年廿七年廿八年一覽』の1頁より

抑モ本校ハ明治17年文部省公布商業學校通則第一種ニ屬シ商業ニ関スル必須ノ学科及其實務ヲ教授スル所ニシテ愛知縣名古屋商業學校ト稱シ同年六月設立セルモノナリ而シテ其ノ淵源ヲ尋ヌレハ最初名古屋商法會議書會員ノ發意ニ胚胎シ本縣區部會議員ノ建議ニ成ルモノナルカ故ニ其校費ハ區部ノ地方費ニ係リ其校舎ハ假ニ名古屋區南外堀町師範学校附属女學部ノ校舎ヲ以テ之ニ充ツ

同書の2頁より

明治十七年六月二十八日縣令國貞廉平臨場シ開校式ヲ舉行ス○同年六月三十日授業ヲ始ム是時生徒三十八名アリ

『創立五十周年記念沿革小史』より（『CA 百年』18～19ページに掲載）

本校は明治17年6月縣立として設置せられ、愛知縣名古屋商業學校と稱し、等位は同年文部省布達商業學校通則第一種に屬し、専門学校の部類に入る。同年文部省報告に依れば、「本校設置の緣由は、名古屋區の地勢たる東西兩京の中間に位し、其の人口三府に亞ぎ、商塵櫛比殷富の勸美ありと雖も其の商況を熟察すれば、商賈は多く舊慣に浸染し浅狭自ら晝し、更に商業を活發自營するの智能に乏しく、動もすれば機を失ひ産を敗る者無きに非ず。是れ畢竟商業に凱切なる智識なきに因るなり。因って其の陋習を一洗し、商業を振興せしむるの目的より設立せしものなり」と、かくの如き理由に依って、本校は創設せられたるなり。創立費は僅かに縣費八百三拾九圓を要し、假校舎建坪九拾五坪七合一勺。教員數六名、生徒數五拾七名、授業料總額百七拾九圓五拾錢。その歳費二千百四拾四圓三拾五錢八厘は名古屋區部の地方費によって支辨せらる。この名古屋區部の歳入總額は七萬三百三圓五拾三錢三厘。歳出總額は三萬三千百三拾二圓八拾一錢五厘、そのうち教育費は二萬二千九拾圓九拾八錢といふ歳出の大部分を占めたり。以て如何に當區が教育を重要視せしかを知るに足らん。當時全國に於ける商業學校は官公立に東京商業學校、神戸商業講習所、横濱商法學校、山口縣商業講習所並に本校。私立に新潟商業學校の六校ありしのみなりき。

商業科

平成17年 ・「ワークステーション実習室」「国際経済実習室」「総合実践室」「文書処理実習室」「マーケティング実習室」「簿記会計実習室」コンピュータ更新

平成18年 ・3月 愛知県が内閣総理大臣より構造改革特区「あいちIT人材育成特区」の認定を受ける。

・スピーチコンテストレシテーションの部 全国大会 優勝



▲平成19年秋初級シスアド合格者

平成19年 ・オーストラリア ニューサウスウェールズ州 シドニーチェリーブрук工科高校と姉妹校提携



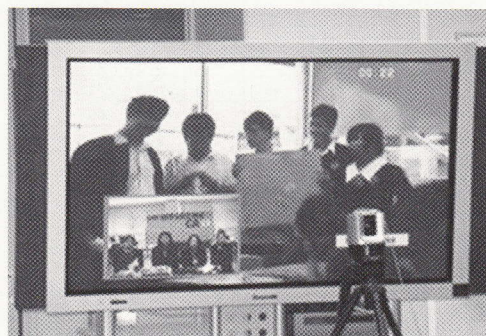
▲姉妹校提携調印式



▲生徒のスピーチ



▲姉妹校提携タブレット



▲TV会議システム交流

・インターネット活用教育実践コンクールで内閣総理大臣賞を受賞



・愛知大学との高大連携（商業科 会計コース）
経営学部会計ファイナンス学科と「国際会計」の授業で協力関係を構築し、
「覚書」調印により連携 様々な活動を実施



▲高大連携プロジェクト
最終打ち合わせ



▲愛知大学 堀学長と校長 調印式

▲平成20年2月1日中部経済新聞



▲愛知大学 Publication フェス' 08「特別招待
名古屋商業によるプレゼンテーション」
：愛知大学 名古屋（三好）校舎



◀高大連携交流セン
ター設置要望書提出



愛知県商業教育研究
大会 研究授業「国
際会計」発表▶

▼高大連携体験学習 愛知大学 車道校舎



▲愛知大学 名古屋（ささしま）校舎

- ・愛知工業大学との高大連携
- ・ISO14001認証取得研究



▲愛知工業大学学長との調印式

なごやスクールISO認定校▶

- ・経済産業省起業家教育促進事業（流通経済コース2年）



▲(株)ギジネス経営 シミュレーション体験

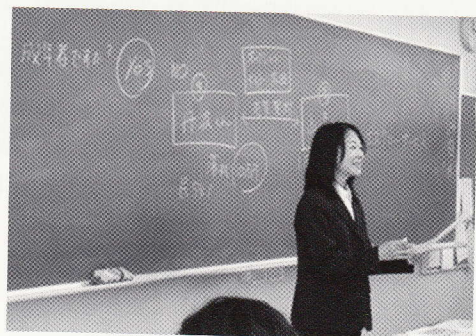


▲(株)ウィルシード 国際貿易シミュレーション体験

平成20年 ・定員320名（1クラス増）



▲スピーチコンテスト スピーチの部 全国大会 優勝



▲経済産業省起業家教育促進事業（流通経済コース2年）

平成21年（各種団体と連携教育継続推進）

- 名古屋国税局
- 千種税務署
- 名古屋税理士会
- 公認会計士協会
- 名古屋地方裁判所
- 名古屋市立大学



編集後記

はじめに、今回も130年もの長い歴史と伝統を誇る名古屋商業高等学校の記念誌発行に携わることができ光栄に思っております。というのも先の120周年記念誌発行時においても微力ながら一担当者として名を連ねたからです。

さて、本記念誌作成に際しましては、次のことを考慮しております。それは先の創立120周年記念誌掲載の通史に、それ以降10年間において「商士」等で取り上げた学校及び商友会での様々な話題、出来事等を抜粋し、系統立てて捉えまとめました。主なものとして海外から学生を受け入れての授業等グローバルなビジネス教育の推進、また全国銀行協会等から認定を受けてそれぞれ専門分野での教育、さらに台湾研修旅行を兼ねて現地学生との交流などより国際化を目指した内容で溢れています。

また、この度の130周年の諸記念事業に関しましては、委員長の挨拶はじめ、記念懇親会及び記念式典並びに記念講演、記念コンサートに加え、商業祭等盛り沢山の行事の模様等は写真も多く取り入れてわかりやすくまとめました。

それと特記しておきたいのは、学校関係者が探し当てた、第五代校長の市邨芳樹著「商士訓」（明治43年4月発行）を原文のまま、記念誌とは切り離して別冊で発行したことであります。商業教育に力を注がれた市邨先生の書は創立130周年記念に相応しいものであると思います。

おわりに本記念誌を発行するにあたり、学校教職員の皆様、また商友会ほか関係各位の皆様にご協力いただきましたことに対して心より厚くお礼申し上げます。

商友会130周年記念誌編集委員長

72回生 奥田 幸男

名古屋市立名古屋商業高等学校 創立百三十周年記念誌

発行日 平成27年11月
編 集 名古屋市立名古屋商業高等学校
CA商友会
〒464-0044
名古屋市千種区自由ヶ丘2丁目11番48号
TEL 052-751-6111
FAX 052-761-7508
<http://www.nagoya-ch.ed.jp>
印 刷 株式会社 マルワ
TEL 052-802-4141